

2015年2月4日(水)・5日(木)・6日(金)・7日(土)《4日間》 小石原ポタリー新作発表会 開催のお知らせ

小石原ポタリーは、福岡県・東峰村にある小石原焼の窯元と、フードコーディネーター・長尾智子のコラボレーションによって開発された、新しい暮らしの器です。伝統の意匠を生かしつつモダンなそのたたずまいは、「どんなメニューにも食卓にも合う、新スタイルの器」として人気を博しています。

2008年に発表され、これまでに15のラインナップを展開。そして今年、2/4(水)～7(土)の4日間、DEE'S HALLにて新作発表会をおこないます。毎日のテーブルに豊かな表情を添える「料理をおいしくする器」に、新しく仲間入りする2つのアイテム、その世界感をどうぞお楽しみに。



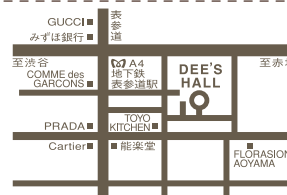
会場: DEE'S HALL (〒107-0062 東京都港区南青山 3-14-11)

TEL: 03-5786-2688 FAX: 03-5786-2689

<http://www.dees-hall.com>

営業時間: 11:00～19:00

※最終日7日は15時まで ※駐車スペースはございませんので
お近くのパーキングをご利用くださいませ。



小石原ポタリー 2015年の新作は、道具としての“用の美”のある器。

そして、今年の新作は「片口すり鉢」と「片口水差し」。「片口すり鉢」は、胡麻やナッツをする道具としてはもちろん、そこに野菜を和えてそのまま食卓へ、そんな楽しみ方も出来る一品。「片口水差し」はピッチャーやワインのデカンタに、あるいは花入れに…。使う人の発想で表情を変える“用の美”のある器が、食卓の愉しみを広げてくれます。

「^{はけめ}刷毛目」や「飛びカンナ」。伝統の意匠が洗練と出会い、表情豊かな器たちが生まれました。

小石原ポタリーは小石原の土と釉薬にこだわり、1品1品、職人が手作ります。特徴的な模様は、刷毛でこまやかな柄を描く「刷毛目」と、ろくろを回しながらカンナをあてて刻み模様を作る「飛びカンナ」。そのデザインは10の窯元それぞれに異なり、実に表情豊か。器のラインナップも豊富で、カップ、ボウル、平皿、浅鉢etcと、毎日のシーンに寄り添うアイテムが揃います。



長尾 智子 プロフィール
フードコーディネーター。

「暮しの手帖」「クロワッサン」などの雑誌連載や著作、飲食店のメニュー、商品開発～
著書に「ベジマニア」(文化出版局)「お鍋ひとつでできること」(樫出版社)「料理1,2,3」(暮しの手帖)「毎日を変える料理」(柴田書店)など多数。

【参加窯元】

『森山貫山窯』(森山 元實)・『宝山窯』(森山 金光)・『元永陶苑』(元永 彰一)・『福嶋窯』(福嶋 秀作)・『川崎哲弘窯』(川崎 哲弘)『鬼丸豊喜窯』(鬼丸 豊喜)・『柳瀬健治窯』(柳瀬 健治)・『圭秀窯』(梶原 秀則)・『秀山窯』(里見 武士)・『原彦窯』(梶原 正且)

◎本件に関するお問い合わせは

小石原ポタリー事務局(東峰村商工会内) 梶原

TEL 0946-74-2121 FAX 0946-74-2284 メールでのお問合せ: koishiwara@shokokai.ne.jp

ホームページ <http://www.koishiwara.jp/>